タクロリムス軟膏 0.1%「イワキ」を使用される方へ

タクロリムス軟膏は、ステロイド外用薬とは異なるタイプのアトピー性皮膚炎治療薬です。このお薬は、日本皮膚科学会アトピー性皮膚炎診療ガイドライン（日本皮膚科学会雑誌119,No.8,1515-1534,2009）でも、ステロイド外用薬と並ぶ外用治療の基本薬として位置づけられています。

1 このお薬はどのようなときに使うのか？

- ステロイド外用薬では十分な効果が得られない、あるいはステロイド外用薬による副作用が生じる可能性があるなど、このお薬による治療が適切であると医師が判断した場合に使用されます。

2 このお薬の特徴

- アトピー性皮膚炎でみられる皮膚の炎症（湿疹）を良くするためのお薬です。
- ステロイド外用薬の長期連用で起こるとされる皮膚萎縮や毛細血管拡張は、ほとんどありません。
- 炎症を抑える強さはステロイド外用薬の作用の強さを示す5つの段階のうち、真中のクラスと同程度とされています。

3 このお薬について知っておいていただきたいこと

- このお薬を使用した患者さんにリンパ腫、皮膚がんがみられたとの報告がありますが、このお薬が原因なのか、関連は明らかではありません。
- マウス（実験用ねずみ）の実験では、高い血中濃度が続くとリンパ腫が起こりやすくなることがわかっています。しかし、正しくお使いになる場合にヒトで高い血中濃度が続く可能性はほとんどありません。
- 使用後、一時的に塗布部位がほてったり、かゆくなったり、ひりひりしたりする刺激感が起こることが多くみられますが、通常は皮疹の改善とともにおさまります。

4 このお薬を使うときに守っていただきたいこと

- 1日1～2回、医師から指示された量を塗ってください。（このお薬は、1回塗る量の上限が決められています。）
- このお薬を2週間塗り続けても症状がよくならない場合や、皮疹の悪化等がみられた場合は、医師・薬剤師にご相談ください。
- 皮膚がジュクジュクしている部分、おできやにきびのある部分、皮膚以外の部分（口や鼻の中の粘膜など）や外陰部には塗らないでください。
- 眼のまわりに塗る場合は、眼に入らないように気をつけてください。もし、まちがって眼に入った場合は、水で洗い流してください。（刺激感があれば、眼科医の診察を受けてください）
- 塗った部分に当たる日光の量はできるだけ少なくし、帽子や衣服などで強い日差しを避けてください。また、日焼けランプや紫外線ランプの使用は避けてください。
- 妊婦または妊娠している可能性のある方は使用しないでください。また、このお薬の使用中の授乳は避けてください。
- このお薬は、16歳以上の患者さんが対象となりますので、15歳以下の患者さんには使用しないでください。

その他にわからないこと、気になることがあれば、医師・薬剤師にご相談ください。

日本ジェネリック株式会社

TCROT-PG1-1DK